協調會ニュース

◇人事記

参事　林　直道
同　福島　鐵雄
同　子安　浩
嘱託　廣瀬　健一
同　嵯峨屋八郎

太農翼賛壮年団聯盟）

八月三十一日付（農業報國聯盟）

参事　坂井　陸治
同　中島仁之助

總務部勤務ヲ命ス
嘱託　叢澤　頴世

農業組合部兼務ヲ命ス
嘱託　新川　士郎

愛知縣（出張ヲ命ス（二ケ月間名古屋出張所駐在）

九月三日付

栃木縣事業主講習會

八月二十日より同二十二日迄本會及栃木縣工場協會共同主催の下に、日光町梅屋敷道場に宿泊三日間に亘り開催す。參加工場主及工場管理人五十二名

勞務管理研究會

東部地方分科會　八月二十四日正午上野公園下「サンキヨウ」に開催、最近に於ける勞務済の移動情況に付懇談した。出席者二十名。

丸ノ内地方分科會　八月二十五日正午「第一ホテル」に開催、出席者三十名

京濱地方分科會　八月二十六日正午大森白木屋に於て開催、門屋博氏より戰後の思想對策に付講演あり、懇談の後散會した。出席者二十五名。

體育講習

八月十日より十日間　秋田、福島南縣下

八月二十一日より十二日間　福井、新潟兩縣下

錬成指導

八月十一日より二日間　秋田縣下

映畫利用狀況

（一）映畫班派遣

八月二十一日　栃木縣

（二）フヰルム貸與

八月五日より三日間

群馬縣工場協會

同　二日より五日間

東京鐵山監督局

樺太太平鑛業所

出版

八月十四日

（一）月刊　社會政策時報、產業組利、協調、產業組利ポスター

（二）勞務管理の消費生活改善

柳澤榮藏氏逝去

永年協調會に勤務を奈し功勞あった參事柳澤四郎氏は八月二十五日逝去、同二十七日東京雜司ヶ谷霊園にて葬式に依り告別式を行った。

圖書館

八月中（開館日數二十七日間）の閲覽者數は九六名、内本會職員四二名、官公吏一八名、會社工場職員四名、研究團體調査員六名、勞働組合關係者一名、教授學生一九名、其他六名の内譯である。閲覽册數三七〇册、貸出册數八一册。

大阪支所

近畿地方勞務管理講習會

一、主催　財團法人協調會

一、後援　和歌山縣工場縣

一、期間　七月三十日ヨリ八月一日

一、會場　和歌山縣海草郡加太町　吾妻別館

一、講習會員　和歌山縣布株式會社他非也氏外五十七名

一、講師及題目

挨拶　協調會大阪支所長　松村勝治郎氏

同　和歌山縣警察部長

時局問題解説　同盟通信大阪支社長　中村　良三氏

時局問題解説　同盟通信大阪支社長　塚本　義隆氏

將來に殘される歐洲重要政治問題　支那事變一週年に於ける諸経過に就て　大阪憲兵隊憲兵中佐　森山　清氏

產業報國精神と其機關

協調會當務理事　長國保太郎氏

思想上より見たる支那事變

京都宇治平等院方丈　神居琳應師

時局下の勞務管理に就て

協調會參事　長谷　孝之氏

最近の勞働問題に就て

協調會參事　坂井　陸治氏

一、概況　三十日、三十一日は好天にて講習會々員一同終始緊張的雰圍氣の中に講習を受け各講師の講演内容が時局を再認識せしめた。

協調友の會、茜會七月例會

一、日時　七月十六日　午後六時半

一、會場　大阪毎日新聞社會議室

一、講演　「ひとのみち教團」發祥の眞相　大阪府警察部刑事課特安課長　木多　忠夫氏

一、出席者　四十名。

一、講演内容　まづ「ひとのみち教團」の生ひたち、沿革を述べ續いて教祖の理由と犯罪事實及犯罪内容を詳にし、新興宗教に對し鋭い批判を下した。

關西民謡體操研究會例會

一、日時　八月十七日午後六時半

一、會場　大阪青年會堂

一、練習　「龍峡小唄」「日の丸行進曲」

一、出席者　四十名。

名古屋出張所

新職業紹介關係法規研究會

一、日時　八月二十四日午後一時ヨリ午後五時

一、場所　名古屋市中央社會館

一、出席者　六十四名。

一、講師　愛知縣職業課長　三澤房太郎氏

同　愛知縣職業課　加藤岩三郎氏

倉橋　豪文氏

名古屋職業紹介所長　原田士藏氏

名古屋職業紹介所長　原田士藏氏

一、會合概要　大澤名古屋出張所長開會の挨拶をなし三澤課長新職業紹介法の精神の説明をなし次いで勞務者募集規則、勞務者募集規則施行細則に就いて加藤倉橋兩氏より逐條的説明をなし終つて質疑應答を盡ねたが終始緊張して頗る盛會であつた。

健康體操研究會

一、日時　八月二十日午後六時

一、場所　名古屋市中央社會館

一、主催　名古屋健康體操研究會

協調會名古屋出張所

一、出席者　五十二名

一、講師　愛知縣警察部健康保險課

體育指導員伊藤政雄氏、名古屋醫科大學大澤大木勝夫氏

一、會合概要　民謡體操……產業振興歌、愛國行進曲、日の丸行進曲、婦人愛國の歌の練習をなし建國體操の指導を受け盛會であつた。

福岡出張所

第十一回國民精神總動員

全國安全週間實施狀況

今回の安全週間は第十一回國民精神總動員全國安全週間の名の下に縣勞務課及縣協調聯合會の主催を以て縣下全般を指導督勵し各警察署並工場懇話會等の團體を地方主催者として實施せしめたのである。當出張所は縣當局委員と共に各地方に於ける事業上の實施狀況を觀察せり其の概要左の通り。

一、安全週間日次

七月一日（金）　安全祈願日

七月二日（土）　再檢手入日

七月三日（日）　整位向上日

七月四日（月）　清掃整頓日

七月五日（火）　非常訓練日

七月六日（水）　芸術愛護日

七月七日（木）　報國宣揚日

二、參加事業數　三、一〇七

三、安全講演會

講師　協調會當務理事　蒲生俊文氏

六月廿五日（土）東京製鋼株式會社小倉工場、小倉鋼鐵株式會社、同廿六日（日）旭硝子株式會社收山工場、同廿七日（月）栃木商事株式會社栃木造酢所、株式會社築後工作所、同廿八日（火）日本鋼業株式會社、九州曹達株式會社苅田工場、同廿九日（水）安全管理人座談會（各縣下）

編輯後記

漢口陥落を目指にひかへて我國の長期戰體制もいよ〳〵整備し、產業報國の大運動も着々その緒を緊へその實をあぐる段階に到達した。本誌も次號よりその名を產業報國と改め產業報國運動の正式機關紙として讀者諸氏にお目にかゝることとなるであらう。（協調）